

「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 28 年 3 月 10 日

仕事の内容	スポーツ推進委員活動				
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係	課長名 村上敏彰

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 スポーツ・レクリエーションの推進

(総合計画書 43 ページ)

予算名	款 10	教育費	項 5	保健体育費	目 1	保健体育総務費	事業 2	スポーツ推進委員活動費	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)			
	全市民					→ 全市民(4月1日現在)			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)			
市民に対するスポーツの推進					→ スポーツに興味ある市民				
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)				
2年間の任期で委嘱し、年12回の定例会を開催し、各種スポーツイベントへの応援や主催イベントの実施。					→ 定例会の回数 イベントの回数				

2 指標の推移			単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標
	対象指標	①の数値	人	85,382	85,413	86,092		
	成果指標	②の数値		—	—	—		
	目 標	②の目標値						
		目標値設定の考え方						
	活動指標	③の数値	回	26	23	30		

3 経費	事業費		円	3,066,270	3,150,836	3,042,855	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	3,066,270	3,150,836	3,042,855	
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3	
		所要人数(再任用)	人				
事業費+人件費		円	5,568,270	5,640,236	5,512,755		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	スポーツ振興法第19条に基づき、東大和市体育指導員に関する規則が、昭和37年4月1日に施行。このスポーツ振興法は平成23年4月1日に全面的に改正され、スポーツ基本法が施行された。スポーツ基本法第32条に基づき、平成23年9月1日に、東大和市スポーツ推進委員に関する規則が施行された。スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに、住民に対するスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導、助言を行うことを目的として活動している。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 「スポーツ基本法」の理念としてスポーツを権利としていることも踏まえ、ますますスポーツに対するニーズが高まっており、スポーツ推進委員の役割は重要なものとなっている。	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	2020年オリンピック・パラリンピック東京開催を見据えて、スポーツ(障害者を含む)の普及・啓発の促進	

仕 事 の 内 容	スポーツ推進委員活動			
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係 課長名 村上敏彰

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)			
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。 熱意ある市民によりスポーツ推進委員を選出しているため、現在の委員は適していると感じる。				
7 課 題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。			
	2020年オリンピック・パラリンピック東京開催を見据えて、スポーツの振興に力を入れているところであるが、当市では今年度初めてスポーツ推進委員主催で障害者の事業を実施した。次年度以降も障害者スポーツには力を入れていくが、障害者スポーツに対する理解や企画・広報等が課題である。また、東京都からの補助金もうまく活用する必要がある。			
8 今 後 の 方 向 性	(1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など) 各事業、担当だけではなく委員が一丸となって議論し、最善の策を考えていく。			
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。 東京都障害者スポーツセンターとうまく連携して実施する。			
	(3) 改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成 果	成果を向上させる。		経 費	仕事の経費を増加させる。